

[2024 年度 教育研究活動報告書]

リハビリテーション学科専門基礎

【著書】

- ・ 松井理直：言語学，大森孝一・永井知代子・深浦順一・渡邊修（編集）『言語聴覚士テキスト第4版』 pp. 182-197, 2025. 2.
- ・ 伊禮まり子（分担執筆）：脳波による脳機能の測定，運動の神経生理学. 190-199, 北國新聞社, 2024. 9.

【学術論文】（総説、原著、研究報告、短報、症例報告など）

- ・ 松井理直：日本語無声硬口蓋化軟口蓋破裂音の時間構造—母音無声化を伴う日本語無声破裂音の基本データ—. 日大阪保健医療大学紀要, 第7号, 印刷中.
- ・ 松下健史・松井理直：部分的オンライン SST と対面 SST での類似点と相違点に関する言語心理学的評価指標についての考察. 大阪保健医療大学紀要, 第7号, 印刷中
- ・ Naofumi Suematsu, Akinori Y Sato, Akihiro Kimura, Satoshi Shimegi, Shogo Soma: Perceptual Visual Acuity Declines With Age in a Rat Model of Retinitis Pigmentosa While Light Perception is Maintained, Investigative Ophthalmology & Visual Science, 66(3), 31, 2025,3

【学会発表】（学会，研究会，分科会，シンポジウム等の講演を含む）

- ・ 松井理直：関西方言におけるフレーズ成分・アクセント成分の計算—C/D モデルに基づく音調計算—. 疑問詞文のプロソディーに関する音声学・言語学，神戸松蔭女子学院大学言語科学研究所, 2024. 7. 27.
- ・ 松井理直：日本語のカ行子音・キャ行子音の特性歳. EPG 研究会，オンライン開催, 2024. 9. 7
- ・ 松井理直：母音間における無声破裂音のインパルス応答特性. 日本語音声の調音協調運動に関する総合的研究，神戸松蔭女子学院大学言語科学研究所, 2025. 3. 22.
- ・ 藤岡重和，早崎華，和田晋一，柴田雅朗：ナノビームX線蛍光分析装置を用いた培養心筋細胞における元素分析. 第71回日本臨床検査医学会総会，大阪, 2024. 12. 1.
- ・ 清田岳臣，藤原勝夫，中村 天，伊禮まり子，中村 彩：負荷条件による姿勢要求の違いが上肢屈曲運動時の予測的姿勢筋活動の発達に及ぼす影響. 日本健康行動科学会第23回学術大会，札幌, 2024. 8. 31-9. 1.
- ・ 中村 天，藤原勝夫，清田岳臣，中村 彩，伊禮まり子：乳児におけるつかまり立ちでの連続膝屈伸運動時の大腿部の筋活動様式の発達的变化. 日本健康行動科学会第23回学術大会，札幌, 2024. 8. 31-9. 1.

【研究助成金】（文部科学省，厚生労働省，公的研究，その他助成金）

- ・ 松井理直：日本語音声の調音協調運動に関する総合的研究. 文部科学省基盤研究（C）（研究代表者），2024，500,000 円.
- ・ 松井理直：疑問詞文のプロソディーに関する音声学・言語学の融合的・実証的研究. 文部科学省基盤研究（B）（分担者），2024，200,000 円.
- ・ 藤岡重和：タコツボ型心筋症の発症機構の解明—心筋微量元素動態分析と超微形態学的研究. 文部科学省基盤研究（C）（研究代表者），2020 年度～2024 年度：直接経費 330 万円，間接経費 99 万円.

【学位取得・研究業績に対する受賞】

- ・ なし

【教育業績】

なし

【社会貢献・学会活動】（社会活動，公的機関の委員，公開講座，国際貢献，学会役員等）

- ・松井理直：日本言語学会ウェブサイトリニューアルWG 委員
- ・松井理直：日本音声学会 100 周年記念事業委員会委員
- ・松井理直：日本音声学会評議員
- ・松井理直：関西言語学会運営委員
- ・松井理直：日本音韻論学会監事
- ・松井理直：言語聴覚療法臨床研究会研究倫理委員
- ・松井理直：日本学術振興会科学研究費基盤研究審査委員
- ・伊禮まり子：日本生理人類学会 評議員
- ・伊禮まり子：日本健康行動科学会 評議員

【その他特記事項】

- ・松井理直：難聴体験音声ソフトウェアの更新・公開，2024.
- ・松井理直：エレクトロパラトグラフィ補助ソフトウェアの更新・公開，2024.